

日産車体株式会社 投資家向け説明会（2026 年 6 月開催）

質疑応答 概要

<回答者>

取締役社長 富山 隆

.....

Q. サービス部品事業の計画や収益の見込みについて

A. 収益については、サービス部品事業および特装事業も含め、収益向上を図っていく。具体的には、海外 OEM を含む取引先の拡大、独自性の高い商品ラインアップの強化などを通じて、事業ポートフォリオの最適化を進めていく考えである。また、事業体制の強化や競争力のあるコスト構造の実現により、売上拡大および収益向上を目指していく。

Q. 上場企業としての独立性について

A. 独立性については、ご承知のとおり取締役 6 名のうち 2 名が独立社外取締役であるほか、監査役 3 名のうち 2 名が独立社外監査役であり、客観的な観点から監督機能を果たしていると考え。さらに、取締役会の諮問機関として指名・報酬委員会を設置しているほか、関連当事者との重要な取引を審議する取引モニタリング委員会も設置している。これらにより、経営の監督・監視機能は十分に発揮され、独立した実効的なガバナンス体制が機能していると考え。また、日産車体九州については、ご指摘のとおり、日産自動車の土地・建物の中で生産を行っているが、リース料を支払っている。これは設立時から固定資産を極力持たない方針に基づくものである。なお、日産車体九州の設備についてはすべて日産車体および日産車体九州の資産となっている。したがって、独立した形で生産活動を行っているご理解いただきたい。

Q. 湘南工場の土地売却について

A. 土地の売却については、現時点で売却の予定はない。